

団体名	学術研究都市留学生支援団体「学研ボランティアの会」						
事業名	維新のふるさと「萩城下町まちあるき」						
実施期間	令和元年12月8日(日) 8:00~18:00						
場 所	山口県萩市 (萩明倫学舎、萩城下町、松陰神社・松下村塾等)						
参加者数	外国人留学生	その他外国人	日本人学生	地域住民	スタッフ 大学関係者	その他 (来場者等)	合計
	33	2		3	4	6	48名

<実施内容>

留学生が地域社会との交流を通して日本の歴史・文化に触れ、日本(人)への理解促進を図るため維新のふるさと「萩城下町まちあるき」を実施した。

○萩明倫学舎

築104年の木造建築の旧明倫小学校を萩明倫学舎として平成29年にオープンし一般に開放した。明倫学舎には世界遺産ビジターセンターと幕末ミュージアムを併設し、日本の近代史に触れることができる。参加の留学生の中には、建築専攻の学生もいて、100年前の木造建築に興味を持ち天井裏の構造を熱心に見学していた。昼食は明倫小学校の教室を復元した復元教室を使った。留学生は国は違っても小学校の机は同じ形だったようで、話が弾んでいた。

○萩城下町まちあるき

江戸時代に作られた古地図を使って現在でも町歩きができる街並みが残っている。中でも日本の道100選に選ばれている菊屋横丁は白壁となまこ壁や黒板壁が続く美しい町並みが続き、高杉晋作や木戸孝充など維新の志士ゆかりの地を地元ボランティアの案内で散策した。

○松陰神社・松下村塾

世界遺産に登録された松下村塾をはじめ、松陰神社など明治維新の原動力となった萩の歴史を感じることができる明治維新胎動の地を散策した。

(写真別紙あり)



萩・明倫学舎にて



武家屋敷にて



松陰神社にて

<参加者からのコメント>

留学生

(日本語訳)

今日のバスハイクはとてもよかったです。
萩は大満足で他の留学生や日本人と一緒に日本の歴史を学ぶことができた。
また参加したい。

留学生

(日本語訳)

とても良い内容でした。どの場所も良かった。日本の近代史に興味をもちました。

地域住民(日本人)

とても楽しいイベントでした。ふだん話せない留学生と交流できてよかったです。